

平岸中学校第1学年 第3回定期テスト出題範囲表

2024年10月15日

		出題範囲等	学習のヒント、必要な物等
11月1日(金)	1校時	<p>・詩の世界(教科書 P68~72)</p> <p>・比喩で広がる言葉の世界(教科書 P73~76)</p> <p>・指示する語句と接続する語句 (教科書 P77~79)</p> <p>・大人になれなかった弟たちに… (教科書 P96~105)</p> <p>・星の花が降るころに(教科書 P106~115)</p> <p>・方言と共通語(教科書 P121~122)</p> <p>・漢字の音訓(教科書 P123~124)</p> <p>・いろは歌(教科書 P154~155)</p> <p>・蓬萊の玉の枝—「竹取物語」から (教科書 P158~169)</p> <p>・さまざまな表現技法(教科書 P224~226)</p> <p>・文の組み立て(教科書 P242~246)</p> <p>・漢字の書き取り(漢字テスト⑦~⑫)</p>	<p>・教科書の範囲の部分を、すべてよく目を通しておくこと。</p> <p>・ワークの範囲は P44~77、P95~106、126~129、154です。自己評価表をよく見て取り組み、提出日に提出してください。</p> <p>・ノートの整理に自己評価表の通りに取り組み、提出日に提出してください。ノートの書き込みをよく見ておくこと。小テストもよく見直すこと。</p> <p>・漢字のとめ・はね・はらいまでよく見て練習すること。漢字テスト⑦~⑫から同じ問題を出題します。</p> <p>・表現技法や文の成分は漢字で書けるようにしておくこと。</p> <p>・誤字・脱字、小さくて読めない文字、つなげた文字は減点対象です。普段から意識して書くこと。</p>
	2校時	<p>・ New Horizon English Course I (教科書) P.32~P.69</p> <p>・ めきめき English (ワーク) P.34~P.85</p> <p>主な文法表現</p> <p>① したいことについて言う表現 want to 動詞の原形「~したい」 want to be ~「~になりたい」</p> <p>② 数をたずねたり答える表現 How many OOs do you 動詞の原形~? ex) How many books do you have? I have about thirty books.</p> <p>③ 相手に指示したり助言したりする表現 動詞の原形 ~. / Be 形容詞・名詞 ~. Don't 動詞の原形 ~.</p> <p>④ 時刻をたずねたり答えたりする表現 What time is it?→It's 時刻 a.m./p.m. What time do(does) you(he) 動詞の原形 ~? →I(He) 動詞 at 時刻.</p> <p>⑤ 何が好きかたずねたり答えたりする表現 What OO do you 動詞の原形 ~? What OO can you 動詞の原形 ~?</p> <p>⑥ どこにあるか、どこにいるかを説明する表現 ものの位置を表すことば(前置詞) in, on, under, by, behind など</p> <p>⑦ 好きなことや楽しんでいること、得意なことを伝える表現【動詞の ing 形「~すること」】 I like ~ing./ I enjoy ~ing./ I'm good at ~ing.</p> <p>⑧ 体験したことを伝える表現【動詞の過去形】 play-played, eat-ate など ex) I went to Tokyo yesterday.</p> <p>⑨ 人を紹介したり、人について言う表現 【三人称単数現在形】 play-plays, study-studies など ex) My brother does judo every day.</p> <p>⑩ 人がしないことを伝える表現【三単現】 do-does, don't - doesn't doesn't +動詞の原形 ~. My mother doesn't play any sports.</p> <p>⑪ 人がするか質問する表現【三単現】 Do you ~? → Does he ~? Does he 動詞の原形 ~? ex) Does Ken cook dinner every day? Yes, he does. / No, he doesn't.</p> <p>⑫ 許可を求めたり、依頼する表現 Can I 動詞の原形 ~?【許可を求める】 Can you 動詞の原形 ~?【依頼する】</p> <p>⑬ 人やものについて動詞の後に「~を、~に」と言うとき【人称代名詞目的格】</p>	<p>・ 授業で使っているワークシートも含まれます。</p> <p>・ 同範囲のリスニングテストもあります。</p> <p>・ 自分のことについて伝えるとき、また、相手に質問するときはどのように言うのか、be 動詞、一般動詞、can の使い方の違いを含め、何度も自分のことや身近なことについて言って書いて身につけましょう。</p> <p>・ 人のことを紹介するときを使う表現を身近な人について書いて練習しましょう。今回は一般動詞を使って練習しましょう。sの付け忘れに注意! その人について知っていることで、否定文や疑問文とその答え方も練習しましょう。</p> <p>・ 質問するときを使う疑問詞の意味を覚え、使い分けできるようにしましょう。</p> <p>・ テスト範囲の単語は「英単GO!」を使って、書いて、読めるように練習しておきましょう。</p> <p>・ 教科書を何度も声に出して読み、スムーズに言葉が出てくるようにしましょう。文字がもつ音について意識しましょう。また、声に出して読みながら書く練習もしましょう。 <u>7 Steps</u> をすることをお勧めします。</p> <p>・ ワークを繰り返し解き、文法をしっかりと覚えましょう。ワークは2回は解きましょう。</p> <p>・ ワークの Unit のまとめについている読み取り問題を時間をはかって解いてみましょう。普段からテンポよく解く練習をしましょう。</p> <p>確認用チェックリスト</p> <p><input type="checkbox"/>ワークは2回は、取り組みましたか。</p> <p><input type="checkbox"/>Seven Steps はやりましたか。</p> <p><input type="checkbox"/>教科書の本文を聞いて、正しく書けますか。</p> <p><input type="checkbox"/>教科書の本文は、正しく読めて、意味が分かりますか。</p> <p><input type="checkbox"/>自分や身近な人について自分で文を考えて作りませんでしたか。</p>

3 校 時	数学	<p>・教科書 p.94~151 3章「1次方程式」 4章「比例・反比例」 ※比例・反比例の利用は除く</p> <p>・ワークシート No.40~ ※どこまでが範囲となるかは授業の進度、みなさんの思考の流れによるため、後ほど口頭で伝えます。</p> <p>・ワーク p.35~93</p> <p>・第2回単元テスト →特に、素因数分解に関わる問題・文字式の計算を重点的に学習すること。</p>	<p>【重点的に学習してほしいこと①~⑤】</p> <p>① 授業で使用したワークシートをよく復習すること。 → どのようなことを探究・思考したか？ → ワークシートに載っている問題は全て解けるようにしたか？</p> <p>② 重要用語の定義はしっかりと暗記すること。 → 例) 等式、xについての方程式、yはxの関数である、yはxに比例する、yはxに反比例する等の定義は特に重要。</p> <p>③ 知識・技能の問題として方程式を解く問題、比例や反比例の式を求める問題、グラフをかく問題を出題 → 苦手な人にとっては得点源になる。</p> <p>④ 第2回単元テストより、10点分程度出題</p> <p>⑤ 1次方程式の応用問題を出題する。授業でしつこく触れた、「正確な記述」をすること。今回の思考・判断・表現はこれがメインとなる。 → (1) 何を文字で表すか (2) 数量の関係に着目し、正確に方程式を立てているか (3) 方程式を正確に解いているか (4) 「解」が「答え」として適切か確かめているか (5) 「答え」を単位を忘れずに記述しているかの5点は最低限必要である。</p>
4 校 時	理科	<p>教科書 P2~59とP171~227 ワーク P2~21とP68~96</p>	<p>・授業で配布した練習問題やワークをやり直すこと。そして、授業ノートを繰り返し見直すなどの復習をしてください。</p> <p>・教科書に記載されている図や表の意味を理解し、用語をしっかり覚えてください。</p> <p>・実験に関する事柄を覚えてください。</p> <p>・定規必要(テスト時、貸し借り禁止)</p>
5 校 時	社会	<p>・教科書 P60~P129+P16, 17 (インド、西アジア、ヨーロッパ州、アフリカ州 北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州+時差)</p> <p>・ワーク P42~P73+P14, 15</p> <p>・時事問題 2問</p>	<p>・ワークを繰り返し行い問題慣れしましょう</p> <p>・地図を見て答えられるようにすること</p> <p>・理由を答えるなどの記述問題が多く出ます</p> <p>・教科書に記載されている資料やグラフを理解できるようにしておくこと。</p> <p>・範囲が広いので計画的に勉強し、今できる最大限の準備をして挑戦してください</p>